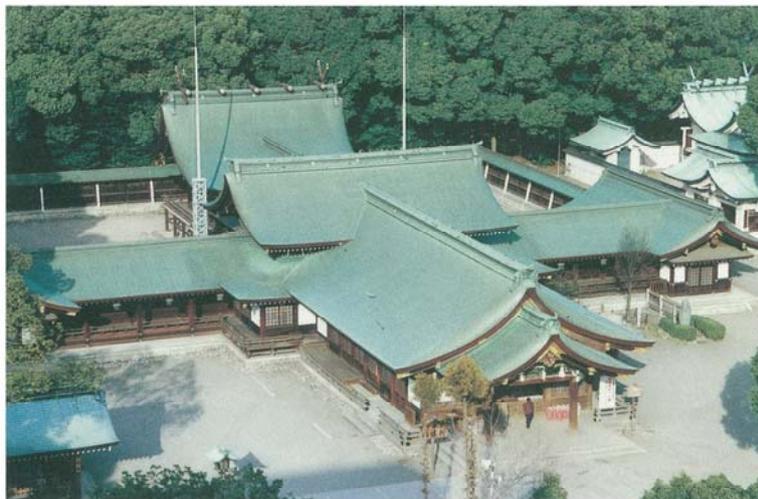


# 中小企業景況調査報告書

平成24年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Masumida Shrine

一宮市観光協会提供

## 目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。
- V. 調査対象企業 次の表のとおり  
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (100) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸売業	13
小売業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	7
織物製造業	26
染色整理加工業	7
縫製加工業	3
そ の 他	5
合 計	48

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析  
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
  2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- VII. 分析 項目
1. 前年同期比  
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
  2. 前 期 比  
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
  2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
 

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

# 今 期 の 概 況

景況は引き続き足踏みがみられる。

## 前年同期比 D I 値の分析

### (1) 業況D I 値

- ① 今期(表 1、3 参照)は、▲36.0 で、前回調査値 (H24.7~9 月期) と比較すると、▲3.0 ポイント (以下 P と記載) と、マイナス幅は拡大している。来期の見通しは、▲33.0 (今期数値との比較 3.0 P) で、若干、マイナス幅は縮小している。
- ② 繊維製造業の今期(48 事業所、表 2、5 参照)も、▲47.9 で前回調査値と比較すると、▲10.4 P と、マイナス幅は拡大しており、来期の見通しも、▲50.0 (今期数値との比較▲2.1 P) と、マイナス幅は拡大している。

### (2) その他のD I 値

- ① 今期は、売上▲33.0、資金繰り▲12.0 で、前回調査値と比較すると、売上 4.0P、資金繰り 2.0P と、マイナス幅は縮小している。一方、採算▲32.0、従業員▲7.0 で、前回調査値と比較すると、採算▲12.0P、従業員▲6.0 P とマイナス幅は拡大している。来期の見通しは、採算▲27.0 (今期数値との比較 5.0P) ながら、売上▲35.0 (同▲2.0P)、資金繰り▲14.0 (同▲2.0P)、従業員 8.0 (同▲1.0P) で、マイナス幅は拡大している。
- ② 繊維製造業の今期は、前回調査値と比較すると、売上 6.2P と、マイナス幅は縮小しているものの、採算▲20.8P、資金繰り▲2.0 P、従業員▲10.4P とマイナス幅は拡大している。一方、来期の見通しは、採算 8.3P、資金繰り 6.2P ながら、売上▲2.1 P、従業員▲6.3 P でマイナス幅は拡大している。

以上のことから、今期の景況は引き続き足踏みがみられる。

## 2. 前期比 D I 値の分析

- ① 今期(表 7、8 参照)は、業況▲25.0、売上▲14.0、資金繰り▲15.0 で、前回調査値との比較では、業況 1.0P、売上▲4.0P、資金繰り▲6.0P となっている。
- ② 繊維製造業(表 9、10 参照)については、前回調査値との比較で、業況▲6.3 P、売上▲22.9P、資金繰り▲10.5P で、全ての項目でマイナス幅は拡大している。

## 3. 設備投資の動向

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 34 件(22 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』9 件、『OA 機器』8 件、『付帯施設』6 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 24 件(14 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』8 件、『OA 機器』6 件、『付帯施設』3 件、『車両・運搬具』3 件となっている。

以上のことから、今期の設備投資は、前回調査値(42 件、26 事業所)に比べ件数・事業所とも減少している。

## 4. 直面している経営上の問題点(表 1 1 参照)

業種別の直面している経営上の問題点は、表 11 のとおり。経営上の問題点の上位には、『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』を挙げる業種が多い。特に、『需要の停滞』は、全業種にわたってトップに掲げられた問題点であり、デフレの長期化を裏付ける結果となっている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A 社（建設業〈土木〉）

官公需、民需ともに冷え込み厳しい状況にあり、来期も引き続き厳しい見通しにある。

## B 社（製造業〈染色〉）

同業者との競争が厳しい中、利益率は低いものの、主取引先からの安定した仕事量があり毎日が多忙である。消費税増税は利益から支払う可能性もあり、収益を圧迫させる。

## C 社（製造業〈織物〉）

売上は、前年同期比横ばい。今後も尾州産地向けは不振が続くそうである。最近の日中関係の冷え込みによる影響は、デリバリー面で多少影響あるが、軽微である。

## D 社（製造業〈自動車部品加工〉）

昨年のタイ洪水の影響で今年4月頃まで生産量は落ち込んでいたが、6月を過ぎてから大きく回復してきた。今後の見通しは、中国向けは少なく、北米、欧州向けが多いので横ばいである。

## E 社（製造業〈金属加工〉）

業界全体は悪化しているようにみられるが、当社の業績は、横ばい推移を確保している。これは、設備関連の受注は減少しているものの、ホームページや口コミによって新規受注先を確保できていることによる。

## F 社（卸売業〈食品容器〉）

風習の変化や世代交代により需要は減少している。さらに、ネット販売業者との競争もあり業況は厳しい状況にある。

## G 社（小売業〈家電品〉）

昨年夏の地デジ化以降、テレビ需要は低迷したが、最近では白物家電、エアコン、太陽光発電システムが特に売れている。今後は、さらにリフォーム事業が伸びる兆しがある。一時的ではあるが、消費税増税に伴う駆け込み需要に期待したい。

## H 社（サービス業〈旅行〉）

需要は非常に不透明で、夏以降急激に冷え込んできている。日中関係の冷え込みの影響は大きく、収益へのインパクトも大きい。消費税増税は、娯楽や贅沢品の類である旅行への影響は相当大きいと思われる。

## I 社（サービス業〈ビル管理〉）

オフィス等の需要は堅調に推移しているが、単価は緩やかに下落傾向にある。今後、消費税が増税された場合、相応分を価格転嫁できるかは分からない。不要な価格競争にならないことを願っている。

## 景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	今 期 H24. 10～12月	来期の見通し H25. 1～3月
業 況	▲28.0	▲30.0	▲22.0	▲33.0	▲36.0	▲33.0
売 上	▲24.0	▲32.0	▲21.0	▲37.0	▲33.0	▲35.0
採 算	▲27.0	▲29.0	▲28.0	▲20.0	▲32.0	▲27.0
資金繰り	▲19.0	▲18.0	▲7.0	▲14.0	▲12.0	▲14.0
従 業 員	▲7.0	▲15.0	▲3.0	▲1.0	▲7.0	▲8.0

## 景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	今 期 H24. 10～12月	来期の見通し H25. 1～3月
業 況	▲30.6	▲42.9	▲31.3	▲37.5	▲47.9	▲50.0
売 上	▲18.4	▲30.6	▲31.3	▲47.9	▲41.7	▲43.8
採 算	▲30.6	▲34.7	▲35.4	▲29.2	▲50.0	▲41.7
資金繰り	▲24.5	▲20.4	▲8.3	▲18.8	▲20.8	▲14.6
従 業 員	▲4.1	▲14.3	▲4.2	2.1	▲8.3	▲14.6

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	5 (5)	0 (1)	0 (2)	2 (1)	7 (10)	▲ 36.0  (▲33.0)
	不変	4 (3)	28 (28)	9 (8)	7 (6)	2 (2)	50 (47)	
	悪化	3 (3)	28 (28)	4 (4)	3 (2)	5 (6)	43 (43)	
売上	増加	2 (2)	10 (6)	0 (1)	2 (3)	2 (1)	16 (13)	▲ 33.0  (▲35.0)
	不変	1 (2)	22 (27)	7 (5)	3 (3)	2 (2)	35 (39)	
	減少	4 (3)	29 (28)	6 (7)	5 (4)	5 (6)	49 (48)	
採算	好転	0 (1)	5 (5)	0 (1)	1 (2)	3 (2)	9 (11)	▲ 32.0  (▲27.0)
	不変	4 (4)	28 (31)	10 (7)	6 (6)	2 (3)	50 (51)	
	悪化	3 (2)	28 (25)	3 (5)	3 (2)	4 (4)	41 (38)	
資金繰り	好転	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	6 (5)	▲ 12.0  (▲14.0)
	不変	5 (6)	45 (46)	12 (11)	9 (8)	5 (5)	76 (76)	
	悪化	2 (1)	12 (11)	1 (2)	1 (2)	2 (3)	18 (19)	
従業員	増加	0 (0)	7 (3)	2 (1)	0 (1)	1 (1)	10 (6)	▲ 7.0  (▲8.0)
	不変	6 (7)	43 (47)	10 (11)	8 (8)	6 (7)	73 (80)	
	減少	1 (0)	11 (11)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	17 (14)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	22	来期	計画している ※2	14
	(事業所数)	実施していない	78	(事業所数)	計画していない	86

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	0 件	5. 付帯施設	6 件	3 件
2. 工場建物	3 件	2 件	6. O A 機器	8 件	6 件
3. 生産設備	9 件	8 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	3 件	3 件	8. その他	2 件	1 件
			合計	34 件	24 件

複数回答可

# 業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	0 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	▲ 47.9  (▲50.0)
	不変	3 (2)	10 (13)	2 (4)	2 (1)	2 (2)	19 (22)	
	悪化	4 (4)	14 (13)	4 (3)	1 (2)	3 (3)	26 (25)	
売上	増加	0 (1)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (3)	▲ 41.7  (▲43.8)
	不変	2 (3)	10 (11)	0 (3)	3 (2)	1 (2)	16 (21)	
	減少	5 (3)	12 (13)	6 (4)	0 (1)	3 (3)	26 (24)	
採算	好転	0 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	▲ 50.0  (▲41.7)
	不変	3 (3)	10 (10)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	22 (22)	
	悪化	4 (3)	15 (14)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	25 (23)	
資金繰り	好転	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	▲ 20.8  (▲14.6)
	不変	5 (6)	18 (18)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	34 (35)	
	悪化	2 (1)	6 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	12 (10)	
従業員	増加	1 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	▲ 8.3  (▲14.6)
	不変	5 (5)	19 (21)	6 (5)	2 (2)	4 (4)	36 (37)	
	減少	1 (1)	4 (4)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	8 (9)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	9	来期	計画している ※2	6
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	42

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	1 件
2. 工場建物	2 件	1 件	6. O A 機器	2 件	1 件
3. 生産設備	4 件	4 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	0 件	8. その他	1 件	1 件
			合計	13 件	8 件

複数回答可

# 景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H23.10～12月	H24.1～3月	H24.4～6月	H24.7～9月	今 期 H24.10～12月
業 況	▲20.0	▲34.0	▲11.0	▲26.0	▲25.0
売 上	▲26.0	▲46.0	▲6.0	▲10.0	▲14.0
資金繰り	▲16.0	▲23.0	▲9.0	▲9.0	▲15.0

# 業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	0	6	1	0	1	8	▲ 25.0
	不 変	4	30	11	8	6	59	
	悪 化	3	25	1	2	2	33	
売 上	増 加	2	12	5	2	3	24	▲ 14.0
	不 変	4	22	6	2	4	38	
	減 少	1	27	2	6	2	38	
資 金 繰 り	好 転	0	3	0	0	1	4	▲ 15.0
	不 変	5	47	12	7	6	77	
	悪 化	2	11	1	3	2	19	

# 景況の推移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H23. 10～12月	H24. 1～3月	H24. 4～6月	H24. 7～9月	今 期 H24. 10～12月
業 況	▲30.6	▲40.8	▲10.4	▲37.5	▲43.8
売 上	▲38.8	▲63.3	0.0	▲12.5	▲35.4
資金繰り	▲18.4	▲20.4	▲8.3	▲8.3	▲18.8

# 業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	7	26	7	3	5	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2	1	0	0	0	3	▲ 43.8
	不 変	3	11	3	2	2	21	
	悪 化	2	14	4	1	3	24	
売 上	増 加	2	4	0	1	1	8	▲ 35.4
	不 変	3	8	1	1	2	15	
	減 少	2	14	6	1	2	25	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	0	2	▲ 18.8
	不 変	5	19	5	2	4	35	
	悪 化	2	5	2	1	1	11	

# 『直面している経営上の問題点』の集計表 表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの変 化への対応 ○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○生産設備の不足 ・老朽化
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○製品(加工)単価 の低下・上昇難	○製品ニーズの変 化への対応
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○商品在庫の過剰
小売業	○需要の停滞	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○消費者ニーズの 変化への対応
サービス業	○需要の停滞	○大企業の進出によ る競争の激化	○利用料金の低下・ 上昇難

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	2
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	14
下請単価の上昇	1
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	11
民間需要の停滞	15
その他	0
合 計	45

### 繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	41
生産設備の不足・老朽化	16
生産設備の過剰	4
原材料価格の上昇	5
原材料の不足	3
人件費の増加	10
原材料費・人件費以外の経費の増加	8
製品(加工)単価の低下・上昇難	41
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	4
従業員の確保難	5
熟練技術者の確保難	14
需要の停滞	82
その他 ・中国問題が発生し、車輛のシート資材の生産に影響した。 ・仕事量の減少 ・売上高の減少 ・輸入品の増加	7
合 計	250

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	10
生産設備の不足・老朽化	7
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	6
原材料の不足	0
人件費の増加	5
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	15
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	23
その他	0
合 計	74

### 卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	18
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	29
その他 〔・ネット販売との競争 ・小ロット化〕	2
合 計	62

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	11
同業者の進出	3
購買力の他地域への流出	7
消費者ニーズの変化への対応	10
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	4
仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	2
需要の停滞	14
その他	0
合 計	54

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	7
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	2
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	3
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	6
材料等仕入単価の上昇	1
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	1
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	14
その他 (駅ビル対策)	2
合 計	47

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

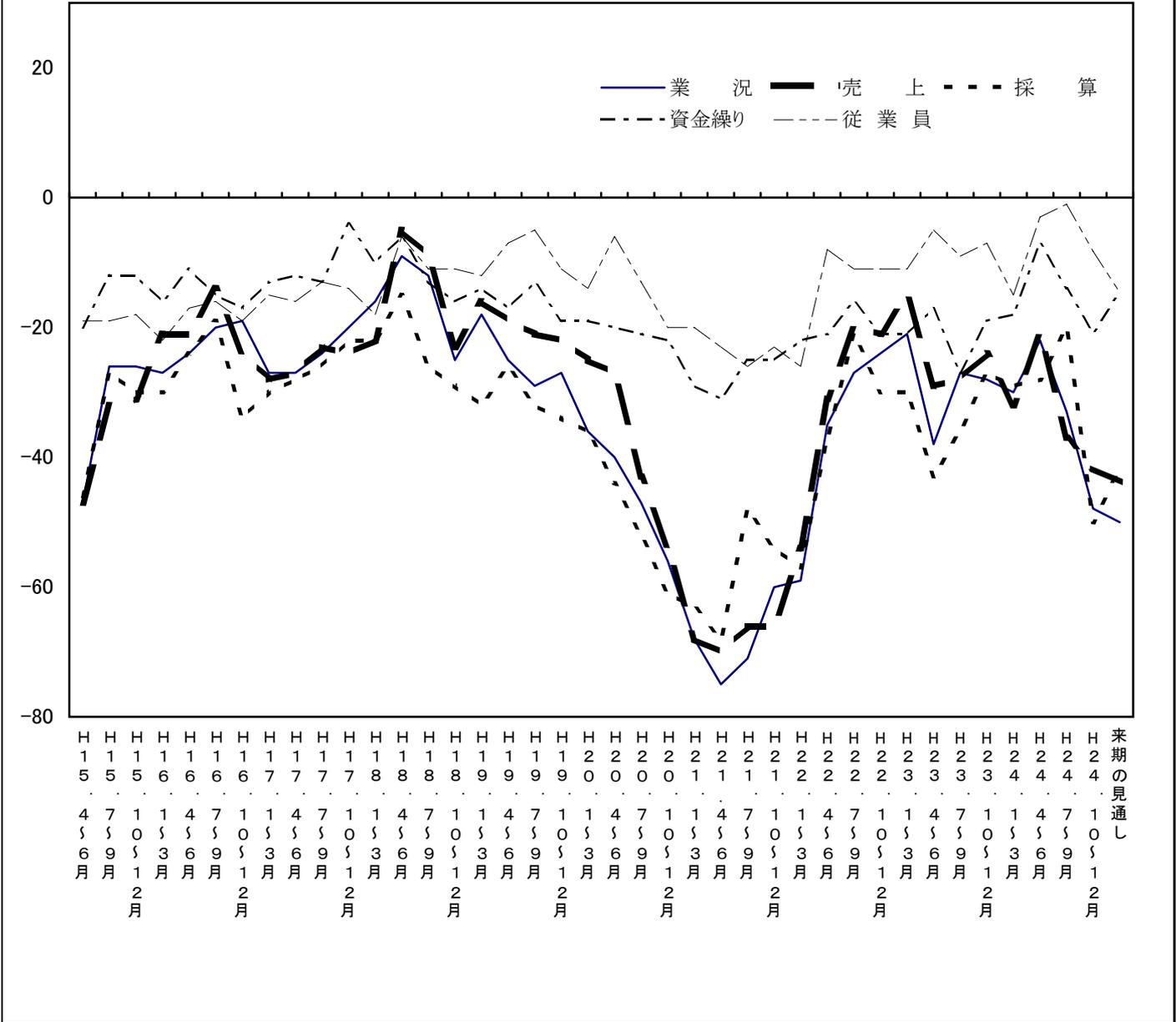




図 4

採算DI 一前年同期比一

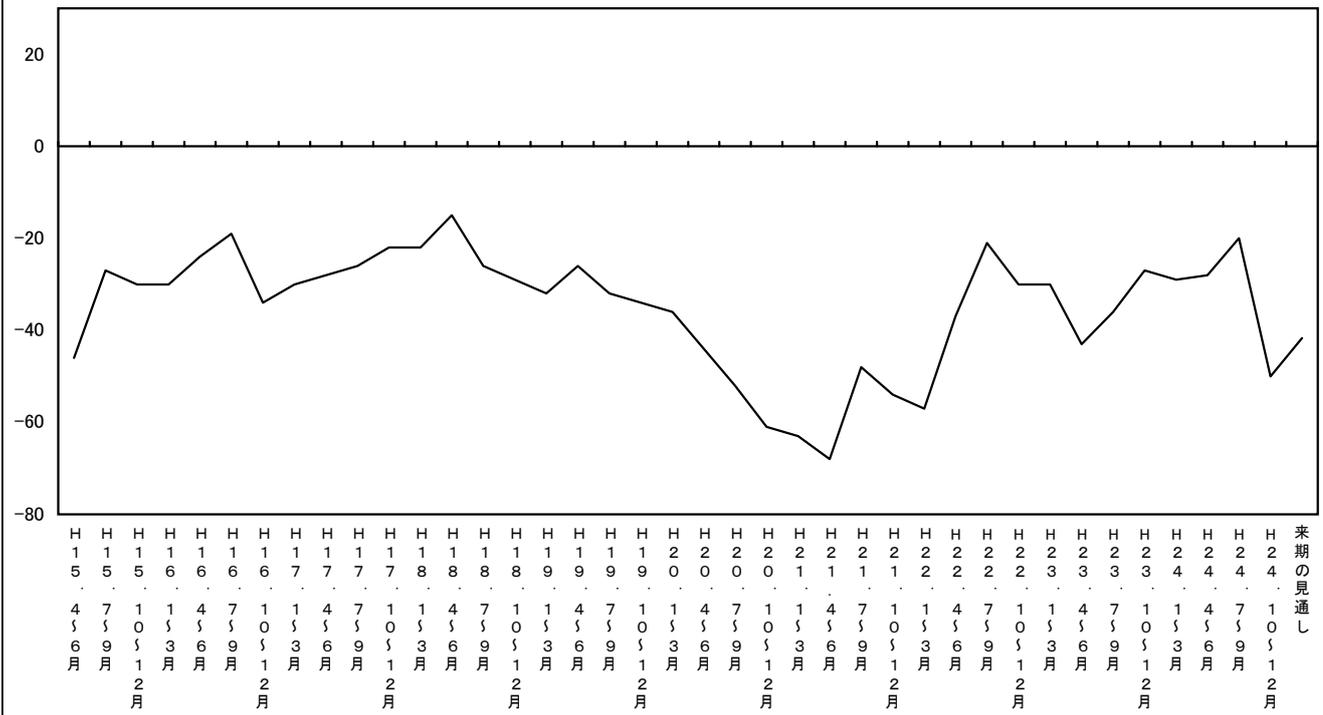
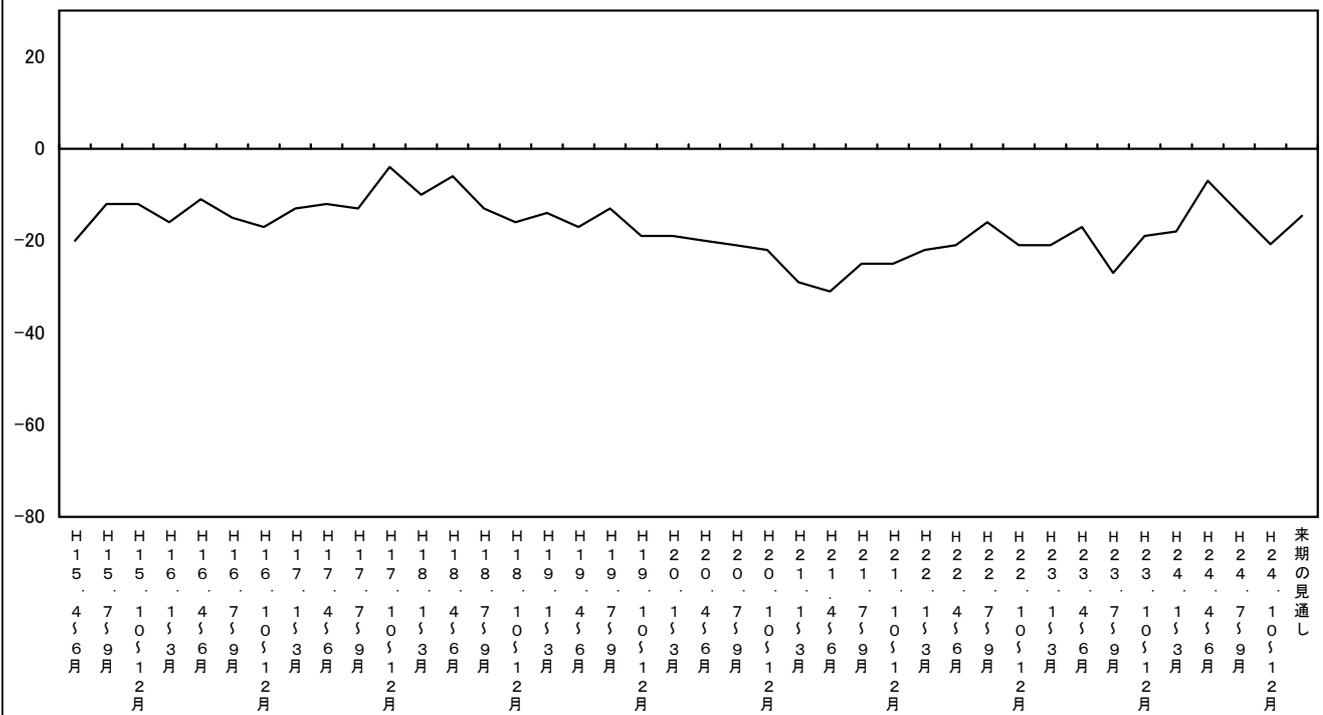
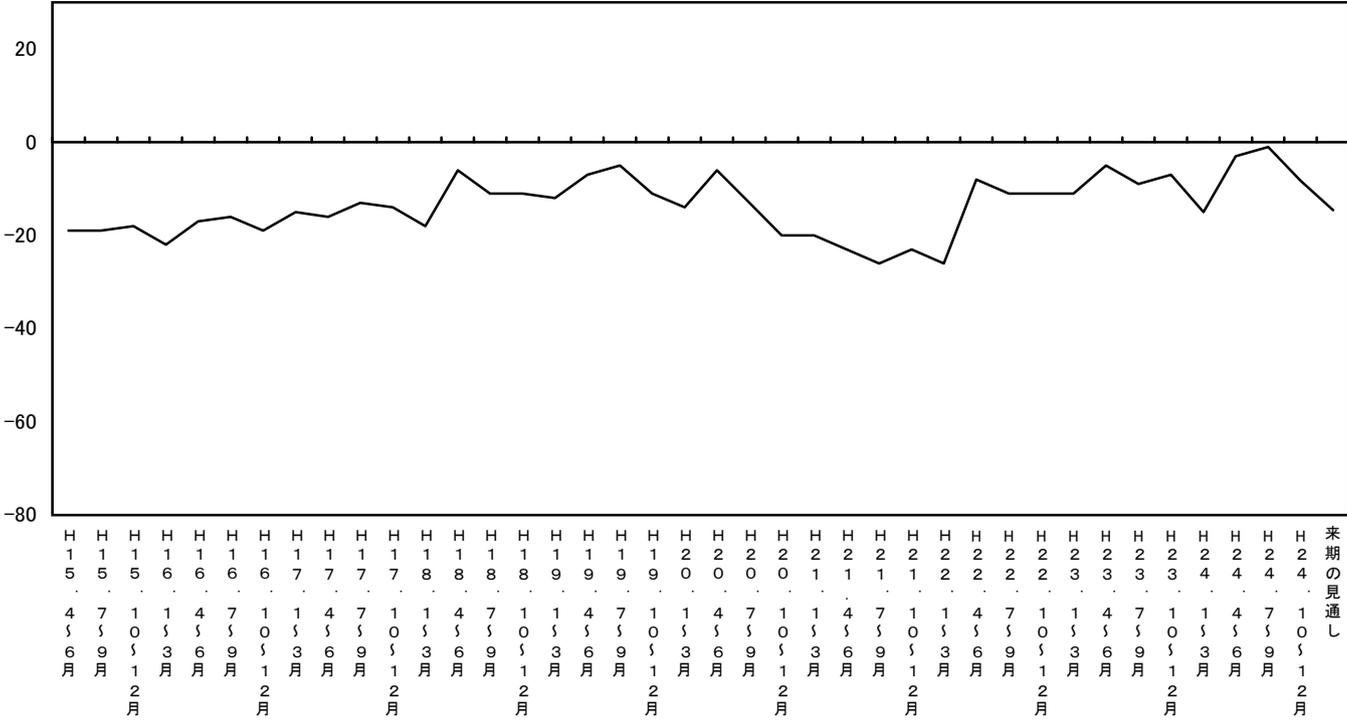


図 5

資金繰りDI 一前年同期比一



従業員 DI ー前年同期比ー





**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目2番1号 (〒491-8686)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)